



# 探究ニュース Access No. 15

発行日 令和3年12月8日

## 目次

- I 45期生 探究Cゼミ活動 中間発表
- II 46期生 プロジェクト紹介
- III TOKYOサイエンスフェアに出場しました。
- IV カナディアン・スタディーズ オンラインイベント

## I 45期生 探究Cゼミ活動 中間発表

45期生それぞれのゼミで、各自1テーマを互いに発表し、質疑応答を行う中で論の修正や今後の取り組み課題を明らかにしました。今回は、B探究を始めたばかりの1年生も加わり、一緒に発表を聞き、質問しました。1年生は、今回を参考に12月には自分たちが中間発表を行います。



こちらは自然科学ゼミの会場です。ゼミごとに分かれ、資料を示しながら課題設定の根拠や先行研究、現時点で収集したデータなどを発表します。ただ聞くだけでなく「ここはどうなっているのか」「このような解釈は出来ないか」など仲間から鋭い指摘が入ります。



2年生全員が発表するため、会場はラーニングコモンズも使って行われました。ソーシャルディスタンスを保ちながら発表するため、時には満員で入れない会場も。

【Voice ここが良かった！】アンケート調査の結果から新たな疑問をきちんと整理してさらに研究を深めようとしている点やテーマを非常に細かく分析し、どのようにしてRQにたどり着いたのかを、論理だてて説明していた点。聞いていてとても納得しながら、自分も自然と「どうなのだろう」とテーマについて同じ疑問が浮かんできたので、とても分かりやすいテーマ設定だと思った。



左のゼミ移動式のホワイトボードを、下のゼミはモニターを使っての発表。ゼミごとに発表の形式も工夫しています。先生に決めて貰うのではなく、様々なスタイルから、効果的なものを自分で探るのも大切です。

[Voice 今後の目標]政府が行ってきた少子化対策を、結論で導いた視点から問題点をより明らかにして、今後取るべき対応まで言及する。また、発表に関しては、統計や資料をより多く活用し、伝わりやすいスライドを作成できるように事前の準備に時間をかけたい。



## ☆1年生(46期生)に聞きました:参考になったところはどこですか?

- ✓ 根拠をはっきりと述べたり、図や表を書いたり、難しい用語などを説明したりすると、誰にでもわかるような発表ができる。
- ✓ 質疑応答のとき、私は緊張して上手く言葉が出てこないことが多いが、先輩方はスムーズに進めていたのがすごかった。
- ✓ ハキハキと喋る。みんなの興味を惹くように喋ったり、資料を用いる。
- ✓ ポイントを言う。何かと比較をする。例は共感しやすいものを。
- ✓ 先行研究を複数用いて、それらを総合して分かることや、課題点をあげていたところ。参考した資料を見せながら発表していたところ。
- ✓ 歴代の先輩の発表から、更に深化させて考察をしている先輩がいらっしやった。

12/13は1年生の中間発表です。「学ぶ」の基本は「真似ぶ」です。2年生発表の見学から学んだことを生かしてプロジェクトでのチームテーマ、仮説を発表します。

## ☆2年生(45期生)に聞きました:発表から気づいたポイント

- ✓ テーマについて数列や数学的帰納法などさまざまなアプローチで研究していた。
- ✓ 参考文献から分かったことを一括して発表するのではなく、本論①、本論②など区切って発表していた点→情報がぐちゃぐちゃにならず聞き手も整理しやすかった。
- ✓ 視線をなるべく上げて話す。ゆっくり喋る。間が大事。
- ✓ 具体例を身近なものに例えて、より分かりやすくする。
- ✓ わかりづらい熟語をあまり使わない発表がわかりやすい。
- ✓ 図やイラストを用いてわかりやすく発表する。また、これからの活動の見通しを明らかにする。
- ✓ まず自分が何を発表するのか先に提示する。
- ✓ グラフや資料などを色などを使ってわかりやすく提示する。
- ✓ 聞き手の分の資料まで用意する。前と後ろで聞いている人のどちらからも聞きやすい発表を意識する。
- ✓ 最後に問いかけをしてオーディエンスに自分の探究内容を踏まえた上でのそれぞれの意見を考えさせていた。これを参考にして、聞き手に考えさせることができるようにしたい。

他の人の発表を見た2年生が気づいたポイントを挙げたものです。ここでは一部だけ紹介しました。2年生は、次の成果発表に役立てて下さいね!

## II プロジェクト紹介

今回はB探究(課題解決プロジェクト)の様子を紹介します。

1年生探究基礎では、今学期よりプロジェクトで活動を行っています。全部で10あるプロジェクトの中から、今回は3プロジェクトの活動の様子を紹介します。

### 1 英字新聞プロジェクト



英字新聞プロジェクトではジャパントイムズ株式会社と連携し、チームごとに取材テーマを決めて英字新聞を作成します。取材の交渉して許可を得て、実際に取材するまで全て生徒が行います。

この日は高尾山に足を運んで取材。高尾山には外国人の方もたくさん訪れています。勇気を出して声をかけてみたら、みなさん気さくに応じてくれました。

### 2 まち作りプロジェクト

京王電鉄株式会社・八王子市役所にご協力いただいて、八王子のまち作り考えます。八王子にどんな課題が今あるのか、誰をターゲットにしているのか、一つ一つを明確にしながら進めていきます。



こちらは個人で発見した課題とその根拠資料の発表。46期生からは各自がタブレット端末を持っているので、最大限に活用しています。

まずは各自で課題を持ち寄り、共通項を探しながら、チーム編成。これからはチームで課題設定のブラッシュアップと地域活性化プラン作りに取り組みます。

知っているようで知らない八王子。魅力を再発見するきっかけにもなっています。

### 3 内視鏡によるがんの早期発見・早期治療プロジェクト

オリンパス株式会社にご協力いただき、がんの早期発見・早期治療に向けて取り組んでいます。こちらは内視鏡の役割や歴史についてのレクチャーと内視鏡の操作体験の様子です。

処置具を近くで見て体験してみることで、どのような仕組みになっているか、操作する上で何が難しいかなど新たな気づきがたくさんあり、理解が深まりました。



